

村上市上下水道事業審議会 議事録（要約版）

会議名	第4期 第2回村上市上下水道事業審議会
年月日	令和7年1月17日（金） 13:30～15:45
会場	村上市役所神林支所 3階 大会議室 （一部リモート形式）
出席委員	オンライン：大串葉子、鷺見英司、遠藤誠作、酒井航 神林支所：加藤明、梅田久子、瀬賀秀雄 【委員7名】
欠席委員	山貝有紀子【委員1名】
事務局	上下水道課 課長 稲垣秀和 経営企画室 室長 林奈美、副参事 本間かおり、副参事 石井美勝 主事 大嶋上総、主事 小野夏音 業務室 室長 齋藤健一、副参事 大矢純 工事管理室 室長 渡邊貴志、課長補佐 伊藤孝雄 副参事 伊與部貞幸、係長 小田和彦 【事務局12名】
傍聴者	4名
次第	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶</p> <p>3 議事</p> <p>（1）村上市上下水道事業経営戦略の改定(案)について</p> <p>① 村上市上水道事業経営戦略(案)</p> <p>② 村上市簡易水道事業経営戦略(案)</p> <p>③ 村上市下水道事業経営戦略(案)</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p> <p>1 開会</p> <p>〈本日の審議会の成立について〉</p> <p>委員総数8名のところ、7名の出席により村上市上下水道事業審議会条例第6条第2項の規定に基づき、本日の会議は成立することを報告する。</p> <p>2 挨拶</p> <p>〈市長あいさつ〉</p>

	<p>3 議事</p> <p>(1) 村上市上下水道事業経営戦略改定(案)について</p>
事務局	<p>< 「①村上市上水道事業経営戦略(案)」説明…資料1 ></p> <p>< 「②村上市簡易水道事業経営戦略(案)」説明…資料2 ></p>
会 長	<p>説明を受け、委員の皆様から意見をうかがいたい。</p>
委 員	<p>資産の有効活用について、遊休資産の売却について検討を進めると記載があるが、こういった余裕のある資産はあまり無いと思うし、実際そのような事例は多くないと感じる。これは経営戦略として検討していくのか、あくまで経営戦略の中でそういうことを書かなければならないため項目としてあがっているのか。国土交通省で12月に出された、水道カルテをぜひ参考にしてほしい。</p>
事務局	<p>ぜひ水道カルテについて紹介いただきたい。</p>
委 員	<p>横軸が料金回収率、縦軸が耐震化率で、二つの指標が視覚的にグルーピングされており、日本全国、上水道事業をやっている全ての事業体において都道府県ごとに公表されている。それを踏まえると、料金回収と耐震化の二つが、水道事業を考えるうえで注視しなければならない。どう持続的に維持管理について勘案していくか、もう少し経営戦略の中に盛り込んでいただきたい。</p>
会 長	<p>水道カルテを見ると、料金回収率について村上市が非常に劣っているというわけではないが、近隣に比べるとやはり低い。確実に高い値段を示している市町村は、回収率も高くなっている。加えて耐震化も進めていくとなると、さらに投資が必要になってくる。</p>
副会長	<p>耐震化の点について、まだ計画策定の段階のように見える。基本方針では、耐震化を重要な項目としてあげていたので、基本方針と具体的な計画との整合性がない。お金もかかることなので、まずは老朽化を優先しているのだと思う。また、経営戦略といいながら、経営の持続可能性をどうやって高めていくのか見えてこない。経費がかかる分、市民の皆様にご負担をさせていただく以上、どのように効率的な上水道の供給システムを構築していくか、そのためにどんな事をしていくのか、きちんと経営戦略を立てるべき。</p>
会 長	<p>たしかに投資や統廃合について、どういうふうに進めていくのか、まだ題目だけ出ているだけで見えにくい。</p>

	<p>今回、料金改定の時期について、令和8年度の6月を目途にという一定の目安が示されたので、より市民の皆様の理解を得られるような方法や計画について、もう少し経営戦略に書き込んでいただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>様々な項目についてあげているが、実行した結果、具体的にどういう姿にしたいのかが見えてこない。多少値上げしたところで、実際は全体を回す金には、財源としては非常に弱い。収入は減っていくが、費用は変わらないので市はどこまで支援できるのか。永遠に財源が保証されているわけではないので、根本的なところをどうすべきか議論をもっと詰めていく必要がある。</p> <p>水道も下水道もなんとかしたいといっても、全方位でやるには難しいと思う。とにかく他のものを我慢して、上下水道だけを大事にするという事であれば、この戦略は成り立つのだと思う。市民の皆様に、安心できる水道になるということを、胸張って言うためには、確信めいたものを持てるくらい検討していかなければならない。</p>
<p>事務局</p>	<p>< 「②村上市下水道事業経営戦略(案)」説明…資料3 ></p>
<p>会長</p>	<p>下水道事業は上水道事業以上に厳しい状況だという事が改めて示されたと思う。</p> <p>令和54年までに人口が1万人にまで減ってしまうと、非常に少ない人口で色々守っていかなければならない。今から私たちが賢い投資計画を立てて、いかに少ない投資で質の高い生活を維持していくために、今知恵を絞らないといけない。</p>
<p>委員</p>	<p>繰入金が多さは、なんとかしなければならないとずっと思っている。多くの支出を一般会計へ求めるということは避けたい。そのために料金の値上げをすることを、市民の皆様に伝わるように現状を話してほしい。水道料金だけでなく税金など、私たちの生活にどうお金が使われているのか、市の方からもっと説明をしてもらいたい。数字だけ示されても、中身がどうなっているのか私たちには伝わっていませんし、納得、理解できるものを具体的に示してもらいたい。</p>
<p>委員</p>	<p>大幅な人口減少がこれから待ったなしで進んでいく。人件費がかかっているわけではなく、設備もオーバースペックだと感じる。早く料金改定をするに越したことはないが、今後のあり方を早めに市民の皆様に提供していただいて、同意を得ることが大切だと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>公営企業会計は、使用料収入によって経費を賄うという原則で成り立っている。一般会計からの繰入金でなんとかなっているようではいけない。市民の皆様にもこの状況を知っていただき、早くこの企業会計を一本立ちしないといけない。料金改定をす</p>

	<p>るということは、立派な企業会計になるという事を見せないといけないし、それだけ負担を強いるので、きちんと考えていかななくてはならない。</p>
副会長	<p>経営戦略ですから、市民の皆様にはちゃんと伝わるような文章にしておくべき。投資財政計画を作成するうえで、市民の方々がきちんと情報を選べるような配慮をしていただきたい。答申の中で、料金改定を行うために中長期的な構造改革をしっかりと取り組んで、市民の皆様には説明しながら進めていくという考え方だったと思うので、そういった発想をきちんと計画の中にも入れていただきたい。</p>
委員	<p>下水道に関しては非常に問題がいっぱいある。特に農業集落排水についてどうすべきか見えてこない。人口が半減していくかもしれないのに、これで事業をやっているのだろうか。統合ではなく廃止を検討しない限り戦略にならないと思う。耐用年数が50年あるものを、更新はできないので、合併浄化槽に入れ替える方法しかないと思う。それもお金と期間がかかることなので考えていかなければならない。</p> <p>また、これだけの大きな規模の下水道があるところだと、人口減少以外の戦略も必要だと思うが、それに対しては方針がどこにもない。</p> <p>農業集落排水に関わらず、戦略を実際どうやっていくのか実行計画みたいなものが無く、この辺の議論が欠けていると思う。水道と併せて平均的に維持していくのは難しいと思う。上下水道の事業者としての責任を果たすためにも、もう一度考え直してほしい。</p>
委員	<p>投資財政計画の中で企業債がだんだん減っていますが、建設改良費を減らしているので新規の借入をしないということには、おそろくない状況だと思う。どうやるかによって影響を受ける部分なので、そういった視点を持っていただきたい。</p>
会長	<p>人口減少や財政危機の中において、根本的な投資の抑制戦略というのがまだまだ示されていないという事が、委員の皆様からご指摘があった。やはり、現状維持のままいくことが早い段階で危機を招いてしまう。農業集落排水をやめるとか、投資を行えた地域に人口を集積させていくとか、長期的ではないと考えられないものもある。</p> <p>また、十分おいしい水の資源を持っている村上市として、投資抑制によって市民に少しだけ質の我慢をしていただくと、これだけ事業費用がかかりにくくなるとか、戦略的なものをさらに示していただきたい。思い切って何かの事業をやめるとか、どういうやり方で費用を縮減していくのか、実行プロセスが必要である。</p>
事務局	<p>経営戦略の資料について、全体的に内容の説明等、分かりやすく整えていきたい。</p>

事務局	<p>委員の皆様から大変厳しいご意見をいただきました。試算をしていくなかで、やはり収入が減っていくので財源を生み出すのが難しい。事業を抑制したり、一般会計に頼ってしまうこともあるかと思うが、今一度、庁内で議論をしていきたいと思う。</p> <p>本日も説明した内容について、具体的な目標年次やパーセンテージをお示しできなかったもので、投資計画も併せて、これからさらに精査して示していきたいと思う。</p>
会 長	<p>皆様から貴重なご意見をいただいた中で、強い危機感が表明されましたので、議会等でも具体的にどうやって実現させていくか、市民の方々に分かっていただけるよう深い議論をぜひお願いしたい。</p>
委 員	<p>村上市の水は美味しいのに、もっと利用した方がいい。防災意識が高くなってきているのでボトルウォーターも市民の方にももっとPRするべき。利用価値はあると思うので、色々なところにもっと気づいていただきたい。</p>
委 員	<p>経営戦略は3月に策定するのか。今のような整理されていない状態の中では難しいのではないかと。</p>
事務局	<p>総務省からの見直しの要請が7年度であるため、一年前倒して6年度末の公表を目標として動いている。頂戴しましたご意見を反映させて作成したい。</p>
会 長	<p>変わらず3月の公表を目指されるということか。</p>
事務局	<p>委員の皆様の率直なご意見をいただきたい。</p>
委 員	<p>実行計画はまた別にあるというふうな形で公表するのであれば、3月の公表はやむを得ないと考える。</p>
委 員	<p>行政的なスケジュールもあると思うので、何が課題として残っているのか、次のステップなどをしっかり書き込んでいただいたうえで3月の公表が落としどころかなと思う。</p>
委 員	<p>読む側としては、分かりやすい表現を入れていただきたい。</p>
委 員	<p>時間がタイトなので、これはこれとして、実現可能性の課題というのが何か示していくべき。</p>

委員	<p>生半可な気持ちでただ数字を並べるのではなく、負の財産を断ち切れるよう、それぞれ覚悟をしっかりとっていただきたい。</p>
会長	<p>委員の皆様の意見を考えますと、やはりまだ深度が浅い状態ですので、より深いものを7年度中にしっかり出すということを読み取れるようなものにしないとイケないと思う。</p> <p>4 その他 <事務局から事務連絡></p> <p>5 閉会 〈副会長あいさつ〉</p> <p>今年度はたくさんの審議会が開催され、本日も村上市の上下水道の持続可能性についてさらに深まったのではないかと。次年度に向け、さらに議論していけるように審議会を進めていけたらいいと思う。</p>